

## 【ステラPの施工説明】

### ● 組立て方

＜柱と本体の取付け＞

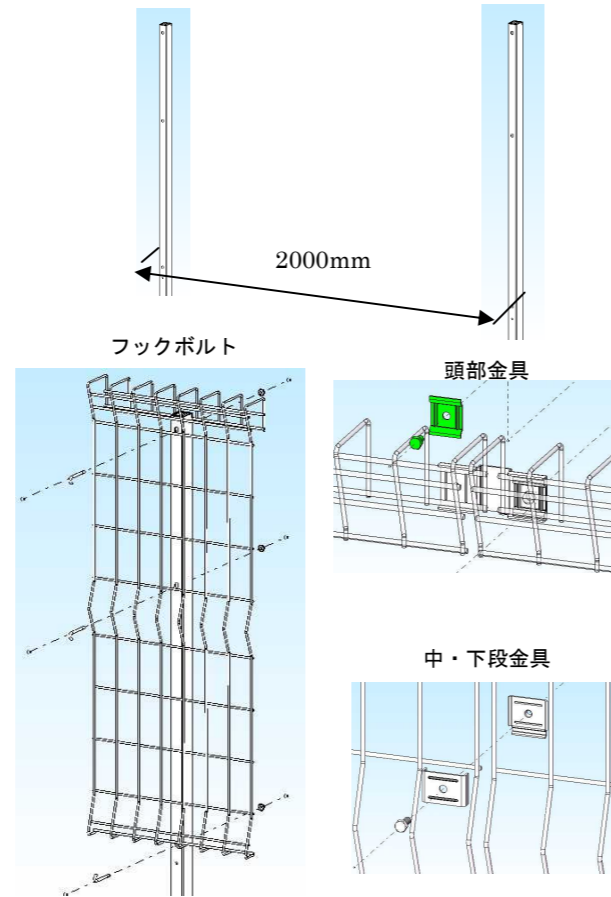
- \* フックボルトの数は、H-60,H-80 は 2ヶ所、H-90,H100,H-120 は 3ヶ所、H-150,H-180 は 4ヶ所、H-200 は 5ヶ所です。
- \* 標準柱間隔は 2000mm です。
- \* 自由柱方式ですので、柱間隔の多少のくずれは問題なく施工できます。
- \* パネルの接続位置は、柱より 150mm 以内としてください。
- \* 標準割付け以外の場合は、現場で本体を切断して調節ください。

① まず支柱を建て込みます。

② パネルを支柱にフックボルトで仮止めします。  
フックボルトの向きは、下端部のみ上向きです。

③ 次にパネルを接続させます。  
頭部金具は、パネル端部の 2本の横線、縦線を固定させます。  
中・下段金具は、パネル端部の縦線と横線を固定させます。

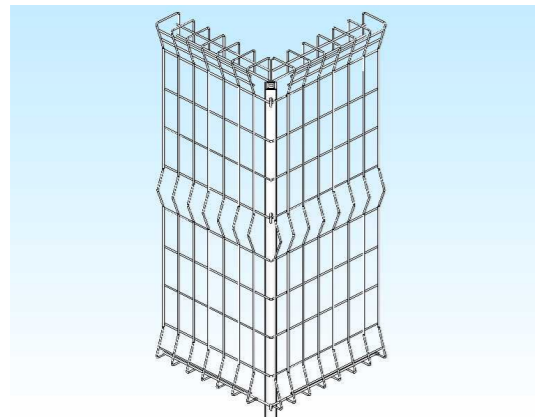
④ 金具を本締めした後、フックボルトの本締めを行います。



### ● コーナー柱への対応

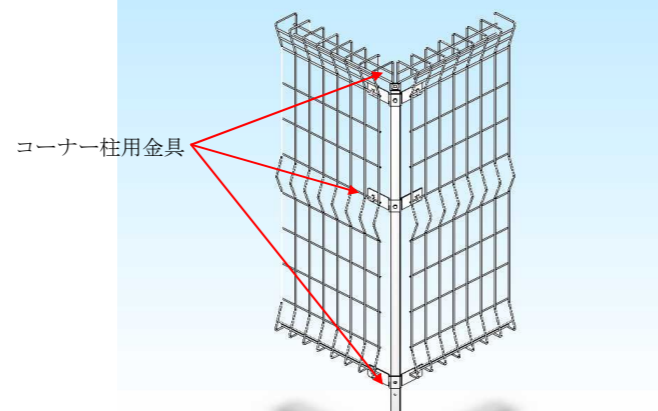
＜コーナーに柱を建て込んだ場合＞

- ① パネルの頭部と下端部を切り欠き、折り曲げる。
- ② 折り曲げ部をフックボルトで柱に固定させる。



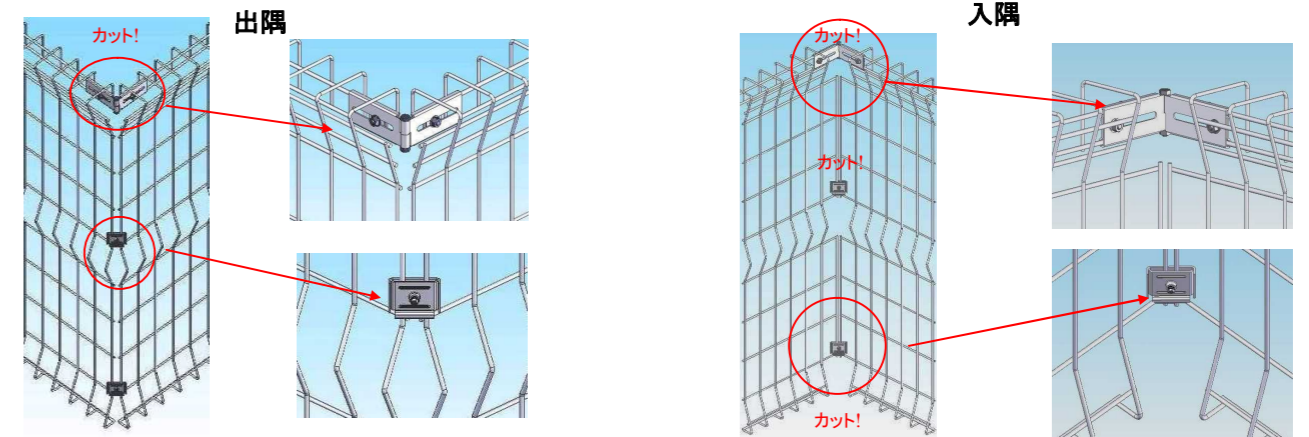
＜金具でパネルを接続する場合＞

コーナー金具を柱に固定し、パネルと金具をフックボルトで締結



### ● コーナー金具(ステラC)

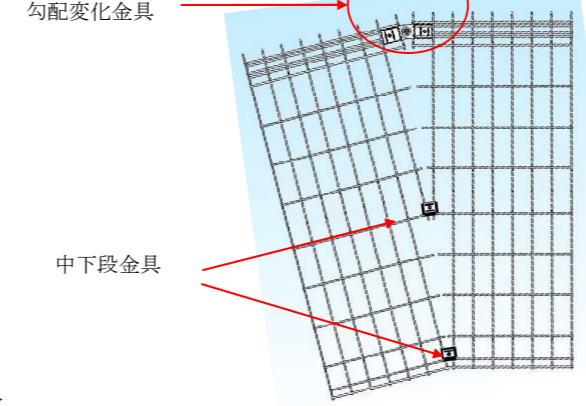
- \* パネル端部をカットして、コーナー金具と取り付けます。
- \* 出隅コーナー、入隅コーナー取付けが可能です。



### ● 勾配部への対応

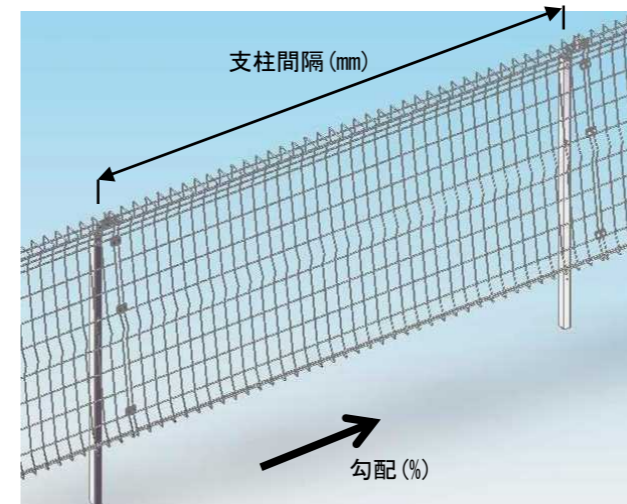
＜勾配変化点＞

\* 現地の傾斜に合わせて、パネル端部をカットし、勾配変化金具と中下段金具を使って、パネルを接続できます。



＜傾斜地＞

- \* 標準のパネル、金具、柱を使って、施工できる勾配は、表-1の通りです。
- \* 勾配が大きくなると、パネルを取り付けできる支柱間隔は、せまくなります。表-2をご参考ください。



\* これを超える勾配の場合は、別途ご相談ください。

表-1. 柵高と勾配の関係

品番	勾配	角度
H-100	12%	6.8°
H-120	12%	6.8°
H-150	10%	5.7°
H-180	8%	4.6°
H-200	6%	3.4°

表-2. 勾配と柱感覚の関係

勾配	角度	柱間隔
12%	6.8°	1985
10%	5.7°	1990
8%	4.6°	1994
6%	3.4°	1996
4%	2.3°	1998